

拡充 **子ども医療事業【民生費】**
1 億 6,455 万円
(健康長寿福祉部 保険事業課)

お子さんの健やかな成長を願い、乳幼児、小学生、中学生が医療機関を受診された場合、保護者が支払われた自己負担金の一部を助成します。これにより、自己負担が1医療機関あたり1か月200円となります。



子ども医療費受給者証

昨年度までは事後給付としていましたが、平成25年度からは保険証による現物給付とし、利便性の向上を図ります。

拡充 **北近畿タンゴ鉄道200円レール【総務費】**
1,142 万円
(企画総務部 企画政策課)

KTR を便利にし、抜本的な利用促進の展開を目的に、通常運賃との差額を市がKTRに補てんする高齢者(65歳以上)の片道上限200円レールを実施します。今年度は年間を通じた取り組みに拡大し、沿線での丹後2市2町で連携した利用運動を実施します。取り組み内容及び利用方法などは、パンフレット等の作成により周知します。



網野町歩こう会での利用の様子

高齢者片道上限 200 円レールの内容

- 対象者 京丹後市在住の65歳以上の方
- 利用日 平成25年4月から平成26年3月末まで
- 利用負担 片道200円(往復400円)
- 対象列車 普通列車と快速列車
- 利用区間 KTR線区内

拡充 **新火葬場の建設【総務費】**
4 億 9,225 万円
(市民部 市民課)

平成26年度中の完成を目指して、峰山町赤坂地内に新火葬場の建設を進めており、平成24年度には、都市計画決定、建築用地買収、建築設計、造成設計、給排水測量設計などを行いました。今年度は、給排水工事、敷地造成工事、建設工事を開始します。



新火葬場の完成イメージ

拡充 **地域協働型小規模公共事業【総務費及び土木費】**
2,406 万円
(市民部 市民協働課)

近年における地区要望の増大に対し、安全安心で快適な生活環境の保全および地区要望の実現促進を図るため、地区要望のうちの小規模で簡易な公共事業について、行政と地域が協働して優先順位、実施箇所、実施方法などを検討し、事業を実施します。

地域協働型小規模公共事業では、市道および交通安全施設(カーブミラー、ガードレール)の補修、LED防犯灯の設置・修繕などのうち、小規模で簡易なものについて、地域事情を把握している市民局が事業を円滑に実施するほか、市から支給する原材料や機械借上により、地域が自ら労働力を提供して事業を実施します。



小規模で簡易な道路修繕などは市民局や地域で実施します
※写真の例は溝ふたや側溝の修繕

新規 **地域資源活用ビジネスの創出【商工費】**
109 万円
(商工観光部 商工振興課)

市内の商店街や農山漁村など地域の振興を目的に、地域の活性化および人材育成に資する活動のノウハウと実績のある慶應義塾大学と連携し、コミュニティビジネスなど地域活性化策の検討とモデル的実践活動に取り組みます。



商店街などの地域活性化を推進

コミュニティビジネス

市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決し、またコミュニティの再生を通じて、その活動の利益を地域に還元するという事業の総称。

新規 **LED 防犯灯設置事業補助金【総務費】 340 万円**

(市民部 市民協働課)

夜間の犯罪防止と通行の安全を図るために、地区が行う集落内の防犯灯設置事業に対して補助金を交付します。

これまでは、蛍光灯防犯灯の設置に対して補助していましたが、維持管理経費の節減、消費電力およびCO₂排出量の削減のため、今年度からLED防犯灯の新設に対して補助します。

- 1灯当たりの補助金限度額
- 電柱等への共架：30,000円
- 鋼管柱設置：90,000円



市が設置したLED防犯灯

※既設の防犯灯からLED防犯灯への取替えは対象となりません。

平成25年度の主なゼロ予算事業

※職員等の「知恵」を活かした取り組みにより、経費をかけずに事務事業を行うもの

まちづくり青年塾

市職員を含めたさまざまな業種の若い市民が集い、将来のまちづくりのための人材交流や育成、新たな市の施策や事業アイデアを発掘し、実現を目指します。



平成24年度まちづくり青年塾の様子

「郷土の偉人」の顕彰・啓発の取り組み

本市の魅力を発信する一つの手法として、本市に縁のある偉人の顕彰・啓発を図る仕組み並びに(仮称)「郷土偉人館」の整備も含め引き続き検討します。

(仮称)「空き家等の適正管理に関する条例」制定へ向けた検討

空き家等の適正な管理に関し必要な事項を定めることにより、空き家等が放置されて管理不全な状態となることの防止を図り、もって安全で良好な住環境の保全及び防犯のまちづくりの推進に寄与する目的として条例化の検討を行います。

(仮称)「生涯現役条例」制定へ向けた検討

「百歳長寿のまち」の特長を活かし、あらゆる世代の市民が仕事や社会参加、生涯学習等とおして生涯にわたり「現役生活」を実践し、心身ともに健康な人生を過ごすことができる地域づくりを進めるため、(仮称)「生涯現役条例」の制定に向けた検討を行います。

(仮称)「自殺のないまちづくり推進条例」制定へ向けた検討

(仮称)「自殺予防対策実行計画」の策定

自殺防止対策にとどまらない、温かい真心あふれるまちづくりを推進するための「(仮称)自殺のないまちづくり推進条例」の制定へ向けた検討をするともに、全市民で支える社会運動を展開する施策を盛り込んだ、今後10年間の自殺予防対策に係る実行計画を策定します。

市役所全職員「ゲートキーパー」の実現

自殺予防対策の一環として、自殺の危険性の高い方の早期発見・早期対応を図るため、1,000人の全市役所職員が「ゲートキーパー」になれるように計画的に養成研修を行います。

※ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話をきいて、必要な支援につなげ、見守ることができる担い手のこと

**古紙のリサイクル推進
ごみ減量ミッション
Part1「紙ごみを減らせ!!」**

ごみ処理量の削減とリサイクルの推進を目的に、市役所庁舎等の公共施設から排出されるごみのうち、紙類(雑紙・印刷古紙など)を分別し、リサイクル業者に売却処分します。この取り組みを通して、今後、市民、事業者等への拡大に向け、効率的な収集方法の検討を行います。

